

平成30年度第1回岡山県私立学校審議会議事録

- 1 日時：平成30年7月20日（金）13：30～15：00
- 2 場所：ピュアリティまきび（岡山市北区下石井2-6-41）
- 3 出席委員：川口委員、塩山委員、杉本委員、高橋委員、竹井委員、
田中委員、早瀬委員、平田委員、光岡委員、三宅委員、森委員
- 4 議事録署名委員：竹井会長、川口委員、塩山委員

5 議事内容

- (1) 過半数の委員出席により会議の成立を確認
- (2) 黒瀬前会長が委員を退任したことにより、竹井委員を新たな会長に互選した。
- (3) 諮問事項について以下のとおり審議

① 関西高等学校の収容定員に係る学則の変更認可について

➤ 申請内容

普通科（170人→220人）、ITビジネス科（160人→100人）、電気科（90人→100人）

➤ 質疑・意見

委員：ITビジネス科は、工業系の学科とのすみわけはどうなっているのか。

事務局：時代の流れとともに、IT技術がビジネスにかなり影響を及ぼしているので、科名を商業科からITビジネス科へ変更する。

➤ 結果

認可が適当

② 岡山理科大学附属高等学校の収容定員に係る学則の変更認可について

➤ 申請内容

教育学科（40人→0人）、普通科（360人→400人）

➤ 質疑・意見

委員：教育学科の40人分をそのまま普通科の定員に増やして、定員どおり生徒が集まるのか。

事務局：普通科の中でコースが分かれており、グローバルサイエンスコースとスポーツサイエンスコースを20人ずつ増やす計画。

➤ 結果

認可が適当

③ 岡山理科大学附属高等学校の広域の通信制の課程に係る学則の変更認可について

➤ 申請内容

普通科（600人→0人）

➤ 質疑・意見

委員：生徒はきちんと卒業しているのか。学校は受け入れた以上卒業させなければならない。在籍している生徒は卒業できるのか。

事務局：募集は停止するが、在籍している生徒については、卒業するまで対応することを学校に確認している。

委員：県内の広域の通信制の課程を持つ私立高校を教えてほしい。

事務局：岡山理科大学附属高等学校、鹿島朝日高等学校、興譲館高等学校、滋慶学園高等学校の4校。

委員：教育の継続性の観点から、特に本年度までに受け入れた生徒はきちんと卒業させてもらうことなどを総務学事課から伝えてほしい。

- 結果
認可が適当

④ 岡山学芸館高等学校の収容定員に係る学則の変更認可について

- 申請内容
普通科（360人→400人）
- 質疑・意見
特になし
- 結果
認可が適当

⑤ 金光学園中学・高等学校の収容定員に係る学則の変更認可について

- 申請内容
中学校（225人→160人）、高等学校 普通科（240人→220人）
- 質疑・意見
特になし
- 結果
認可が適当

⑥ 鹿島朝日高等学校の収容定員及び広域の通信制の課程に係る学則の変更認可について

- 申請内容
普通科（1,440人→4,000人）
生徒納付金（月額2,000円→年額24,000円）、面接指導実施施設（47箇所→56箇所）、
教育課程の変更
- 質疑・意見
委員：受け入れた生徒がきちんと卒業したのかどうかを総務学事課もフォローしてほしい。
定員増に対して、非常勤講師を増やすことで対応できるのか。
事務局：通信制は、通常は自宅等で学習するなど全日制とは異なっており、逆算すると人数は
足りていると考えている。
委員：毎年どれくらいの生徒が卒業しているのかどうかを確認して、学校としての責任を果たすようチェックしてほしい。
- 結果
認可が適当

⑦ 滋慶学園高等学校の広域の通信制の課程に係る学則の変更認可について

- 申請内容

面接指導実施及び単位認定試験実施施設(8箇所→9箇所)

➤ 質疑・意見

委員：定員が900人で生徒数が7人というのは、どういう意味なのか。

事務局：初年度は学校の存在が生徒に浸透していないということだろうが、今後も定員を目指して生徒の募集に取り組むよう伝える。

➤ 結果

認可が適当